

麻生 知子

2022年 秋→冬

3会場 展覧会 ツム

絵本

こたつ 原画展



絵本〈こたつ〉2020年11月15日発行
福音館書店刊 26×26cm 32ページ

絵本〈こたつ〉

ある寒い朝。

こうたくんは、「今日は夜中まで起きている」と、家族に宣言します。朝ごはんを食べて、宿題そっちのけであったかいこたつでくつろいで。いつもどおりの冬の一日がはじまりますが、おせち料理づくりの手伝い、年越しそばの夕食、と、非日常のできごとが増えてきて、この日がだみそかであることが、しだいに明らかになります。特別感、夜ふかしで最高潮に達します。さて、こうたくんは、めでたく起きて「来年」を迎えられるのでしょうか。

ある家族の暮らしの中心・こたつでのだみそかのできごとを、定点観測で描いたユニークな絵本です。真上から、俯瞰（ふかん）でみることで、居間の日常的な風景とそこで繰り広げられるドラマを、新鮮な気持ちで眺めて楽しむことができます。家族のあたたかさ、新年を迎えるよろこびが、感じられる作品です。こたつを知る人も、知らない人も、ぜひ、家族の一員になった気分で、お楽しみください！



2020年の冬に発行された絵本「こたつ」（麻生知子作／福音館書店刊）の原画展を開催いたします。

絵本の元となる原画は、キャンバスに油絵具で描かれており、今展ではその原画34点をご紹介します。印刷物の絵本とは一味違う原画ならではの作品の大きさや、油絵具の質感や、細部の描写などをご覧いただきながら、「こたつ」の物語の中に入って登場人物たちと一緒にあたたまるような気持ちになっていただけたら幸いです。

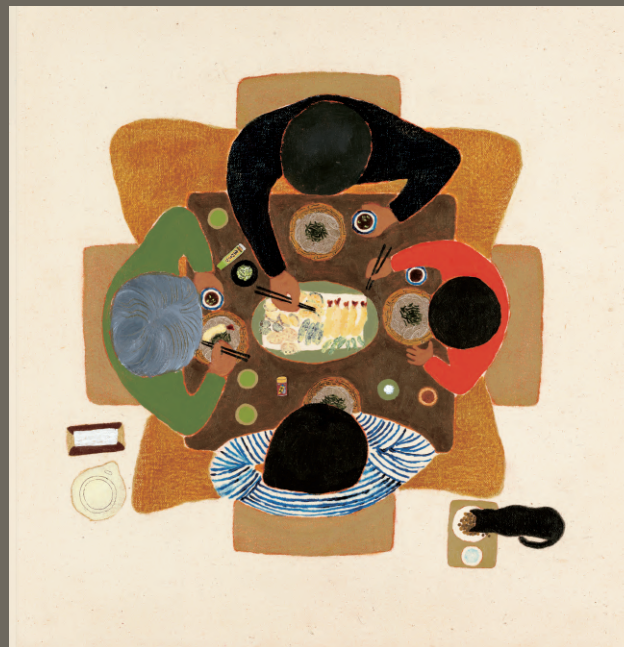
今展は、遊美工房（岡山県倉敷市）、勝央美術文学館（岡山県勝田郡勝央町）、ギャラリーいちょうの木（東京都八王子市）の三会場を巡回いたします。

会期中は、共同企画として、奈義町現代美術館（岡山県勝田郡奈義町）でワタリドリ計画の展示も同時に開催されます。

ぜひ、あわせてお楽しみください。



〈こたつ〉原画 p30-31 キャンバス、油彩、コラージュ 53×53cmの2枚組 2020年



〈こたつ〉原画 p21 キャンバス、油彩、コラージュ 53×53cm 2020年



〈こたつ〉原画 p23 キャンバス、油彩、コラージュ 53×53cm 2020年

絵本の作者・麻生 知子



1982年、埼玉県生まれ。2006年頃から油絵、2014年から陶作品の制作と発表をしている。2008年より、友人の画家・武内明子とともに、日本全国を旅して作品の題材と展示場所を探し、制作し、その土地で発表する《ワタリドリ計画》の活動もしている。2022年までに、全国約20カ所とカナダで、旅と展覧会をしてきた。また、自宅敷地内にある山内龍雄芸術館の運営も行っている。自作の絵本に、『うえからみたり よこからみたり』（「こどものとも年少版」2018年9月号）。好きなものは温泉と食べること。愛猫の名前はクロ。神奈川県藤沢市在住。



麻生 知子・武内 明子

〈ワタリドリ計画〉



- 奈義の旅 -



〈ワタリドリ計画〉は、画家の麻生知子と武内明子が2008年から始めている美術活動です。渡り鳥が暖かい場所と餌を求めて飛んでいくように、二人は展示場所と作品の題材を求めて日本全国を飛んでいきます。

今回は勝央美術文学館がある勝央町の隣にある奈義町を旅したワタリドリ計画の二人。絵本原画展と同時開催で、奈義町現代美術館を会場にワタリドリ計画の展覧会をおこないます。ワタリドリ計画の二人が旅して見た奈義町を奈義町現代美術館に、ぜひ観に来てください！



ワタリドリ計画旅の手彩色絵葉書《奈義町現代美術館》
白黒写真に油絵具の手彩色／2022年

© 1994 Estate of Madeline Gins. Reproduced with permission of the Estate of Madeline Gins.